

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成三十一年一月度 入選句（投稿総数三千百三十三句・小中学投句数二千五百四十一句）

特選

おでんなべ具材がぐつぐつおどりだす 大垣市 辻井 美葵(小四)

「具材ぐつぐつおどりだす」がいいですね。おでんなべの中には、大根、竹輪、はんぺんなどの具材がにぎやかに入っているのでしょう。それが煮え上がってくる様子を「ぐつぐつおどり出す」と、巧みに表現できました。読み手にも、おでんなべの具材ができ上がっていく様子が生き生きと伝わって来ます。

やきいもをわったらにおいがとび出した 大垣市 萩原 せつな(小四)

やきいもは、焚火の灰で焼いたり炉端で焼いたり、釜の中の小石で焼いたりします。焼き立てのさつまいもを手でわったら、おいしそうなにおいがとび出したというのです。この句も、「わったら」とか、「とび出した」といった表現が、読み手の想像をかき立てます。字余りも苦になりません。

少しだけ額が上がったお年玉 大垣市 佐藤 壮真(小五)

作者は、小学校の高学年になったことから、去年よりも“少し”お年玉が沢山もらえた喜びを詠っています。お正月にもらうお年玉！袋の中をそっとのぞき込んで金額を確かめたのでしよう。「少しだけ額が上がった」と、控え目に喜びの気持ちを表現したところに共感させられます。

秀逸

雪の降る夜に輝く星の花 美濃加茂市 山口 幸乃(中二)

ついた餅みんなの思いがこもってる 美濃加茂市 太田 貴悠(中二)

半袖で鳥肌立てるよ持久走 美濃加茂市 奥村 勇翔(中二)

母がまくマフラー身につけぽっかぽか 美濃加茂市 今瀬 結愛(中二)

年がじょうおばあちゃんにとどくかな 大垣市 小川 千晴(小三)

学校にカイロを何こももっていく 大垣市 きたむら もえ(小三)

まだ開けて周りをみれば冬の色 美濃加茂市 長谷川 夏来(中二)

かにさんをいっぱいたべてかになる 大垣市 くぼた かなな(小二)

いちねんのはやさじっかんおそうじ 大垣市 小門 柚貴(小三)

じきゅう走がんばる君に追うわたし 大垣市 牛田 帆香(小三)

入選

さくさくと足元見れば霜柱 美濃加茂市 小柴 悠 希(中二)
 快晴の端から上ぼる初日の出 美濃加茂市 所 晃 希(中二)
 雪ふればクラス全員大きわざ 美濃加茂市 坂井 杏里 紗(中二)
 雪だるま小さく作ってかわいいな 大垣市 森 紫 音(小三)
 ストープでひえた手の平あたためる 大垣市 古野 深 月(小三)
 年がじょう見て思い出す友だちを 大垣市 林 洸 里(小三)
 やきいもをわると金色かがやいた 大垣市 伊藤 那 乙(小四)
 ゆきだるまバケツのこしてどこいった 大垣市 豊 永 悠 斗(小四)
 雪のこえちいさいこえでささやいた 大垣市 早野 太 陽(小四)
 湯気と息かけ声はずむお餅つき 大垣市 稲川 拓 磨(小五)

入選

初句会何をかこうかまよっちゃう 大垣市 細田 愛 海(小五)
 かれはがねかぜにふかれておどってる 大垣市 こやす なな(小二)
 よるおそくまちにひびくよじよやのかね 大垣市 ふじの さな(小二)
 きょうだいできそってさがすはつごおり 大垣市 大平 りくと(小二)
 かがみもちぼくのかおよりおつきいな 大垣市 日比野 悠 真(小二)
 冬休みおばあちゃんちにとまったよ 大垣市 くぼた じゅんや(小二)
 いせじんぐう赤ふく食べるお正月 大垣市 やすい ゆずは(小三)
 はつもうでかぞくみんなでおまいりだ 大垣市 大橋 将 伍(小三)
 雪つもり家ぞくみんなで雪がつせん 大垣市 立川 由 奈(小三)
 みつけたよ冬の三角空の星 大垣市 篠田 風 樹(小四)

選者吟

伊勢湾へひらく三川初日の出

幹 郎